

よつば



卒業おめでとうございます

PTA会長 茂木 京子

この春、聾学校を巣立つ三名の皆さん、そして保護者の皆さま、この度はご卒業、誠におめでとうございます。また、各学部の修了生、卒業生の皆さま、おめでとうございます。聾学校を離れるご家庭も、高等部ご卒業のご家庭も、聾学校で培った絆を忘れず、ぜひいつでも遊びにいらしてください。

ここへ来て、デフリンピック東京開催の影響か、聞こえない・聞こえにくい子どもたちの習い事の実情などを聞かれることが増えたり、これまで聞かれたことのない人から聾学校の様子を聞かれることがあつたりしました。少しずつ変化していく社会の中で、子どもたちがどんな未来を見せてくれるか楽しみながら子育てができることを望みます。

今年度のPTA活動は、交流会を数回開催し、保護者の皆さまとたくさんお話をさせていただきました。また先生方を含めた会員皆さまにアンケートを実施し、今後のPTAのあり方について見直しを進めているところです。それぞれに立場があり事情があり、想いも様々です。全ての声にお応えすることは難しいですが、対話を重ね、知恵を出し合い、子どもたちの教育環境を少しでも良いものにできるよう工夫しましょう。そして、その背中を子どもたちに見せていきましょう。

今後ともPTA活動にご理解とご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

卒業するみなさんへ

校長 近藤 照久

幼稚部、小学部、中学部、高等部と、それぞれの課程で卒業を迎える皆さん、卒業おめでとうございます。昨年、中学部の助産師さんによる命の授業で、人間の脳は成長するまでに二十五年かかるという話を伺いました。高等部を卒業するみなさん



立派な社会人となるために、そして、群馬聾学校の先輩となることを期待されるみなさんには、これからも意識して次の三つの成長を図っていくことを願います。

一つ目は、よく考えて物事を見極めることのできる知(思考・判断)の成長。二つ目は、温かく思いやりのある徳(心)の成長。三つ目は、健康でたくましい体の成長。この三つの成長を自分自身で図る。周りの人に認められるために少なくとも七年間、さらにその後も生涯にわたって磨き続けなければなりません。学校という枠組みから出ると、目を配って注意してくれる先生方はいません。おうちの方も、もう大きいからと、自主性に任せてくれることが多いでしょう。自分でしっかりとした軸を作り、判断しなければならぬことがたくさん出てきます。ああしたい、こうしたいという漠然とした思い。こうなるといいな。という自論見は、そうたやすく実現するものではありません。壁にぶつかりながら、その都度現段階での課題を見極め、また努力が足りないのかな。私はもっと成長できるはずだと、自分自身を鼓舞していきましょう。諦めずに再チャレンジすることのできる人にチャンスはめぐってきます。知徳体が三身一体となった成長を図るこれからの努力は、自分自身との戦いでもあります。頑張ってください。

昨年は、デフリンピックで盛り上がった一年になりました。みんなで東京まで応援に行きました。皆さんは貴重な場面に立ち合うことができました。将来、あのように世界を相手に活躍する選手になりたいと思つた人も多いでしょう。一方で、応援すること自体に面白さや意義を感じた人もいたでしょう。自分の応援が誰かの力になる。気持ちよく応援できる人というのも素敵ですね。後輩や先生たちは引き続き皆さんを応援していきます。皆さんも後輩たちへの応援をお願いします。



PTA講演会

亜細亜大学特任准教授
厚生労働大臣認定手話通訳士

橋本 一郎 先生



十二月十一日(木)、橋本一郎先生をお迎えして「きこえない先輩の姿をのぞいてみよう!」という演題で講演会を開催しました。たくさんのご感想をいただきました。



参加者からの感想

- ◎とても良いお話が聞けました。子供達にも直接話して欲しいと思います。一年に一度は講演に来て欲しいです。ありがとうございました。
- ◎橋本先生の講演会に参加できて、本当に良かったと思いました。今までの我が子との関わり方を振り返って、反省すること・気づいたことがたくさんありました。是非また橋本先生のお話が聞きたいと思いました。ありがとうございました。
- ◎自分にとって意義のある時間でした。この内容は全学部にも知ってもらいたいと思うので、来年度もぜひ講演をお願いしたいと思っています。講演だけではなく、交流会も含めたのは非常にいいと思います。
- ◎進路と今後の人生で必要な教育や先輩の生活、仕事、活動等気になっていたので大変になりました。

PTA手話教室



十月三十一日(金)手話教室を実施しました。沢山の方に参加していただきました。

参加者からの感想

- ◎初級に参加しました。なぜこの手話を使うのか、どんな意味や形を表しているのかもあわせて単語を教えてください、とてもわかりやすかったです。
- ◎手話の指の形や位置(どう動かすか)がなかなか覚えられないのですが、由来や成り立ちが分かると、なるほどと思えることがあり、大変参考になりました。
- ◎あっとい間終わってしまったのでもっと学びたかったという思いが一番です。



幼稚部



リズムは学年ごとに得意なもの、お気に入りのものを選び、指先や背筋をピンと伸ばしてできるよう練習も頑張りました。ダンスは忍者になりきり楽しく元気に踊れました。背景は子どもたちが一つ一つ作った手裏剣を飾りました。

小学部



【1～3年生ステージ発表】劇「さるかに合戦」では、たくさん練習を重ね、当日はお話を楽しみながら、のびのびと表現することができました。「にんげんていいな」の曲に合わせて、みんなでダンスをしました。あたたかい拍手をいただき、大満足の子もたちでした。



【4～6年生ステージ発表】「わたしたちが出会った戦争」という劇をしました。劇中の登場人物の気持ちを想像し、台詞や動きを自分たちで考えて表現しました。最後は心をこめて「花は咲く」の手話歌を歌いました。全員が力を発揮することができました。



【交流】来場いただいたお客さんと一緒にけん玉やポストカードなどを作りました。子どもたちが工夫して、作り方の説明をしました。たくさんの方とふれあい、笑顔いっぱい交流の時間となりました。

中学部



【ステージ発表】生徒たちが脚本を考えたオリジナルストーリー「夜の聾学校」を、ダンスを交えた劇で表現しました。生徒たちは、「自分たちで作ると、大変だけど楽しい！」と達成感や充実感を味わうことができました。



【交流】UVレジンを使ったマグネットの製作をしながら交流をしました。幼稚部から大人までという幅広い年齢層のお客さんに来ていただき、それぞれに合った説明を行うことができました。

群聾祭特集

十月十日(金)十一日(土)に「群聾祭」を開催しました。十日(金)は校内発表、十一日(土)は一般公開を行い、多くの方に来校していただきました。ありがとうございました。
各学部、寄宿舎、地域支援部の展示の様子はこちらのホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。





【ステージ発表】ワールドオーダーでは、生徒全員がシンクロナイズドダンスまで日々練習に取り組んできました。ジャンボリミッキーでは、見ている人が楽しめるように、生徒自身でステージ構成やフォーメーションを考えました。

【交流】#SHUWANOWA 動画の放映などを行いました。ルーレットで出たテーマについて手話でおしゃべりするルーレットトークでは、たくさんの方に参加していただき、楽しくおしゃべりすることができました。



十一月二十一日、小学部の児童は卓球、中学部、高等部の生徒は陸上と卓球にわかれて競技を観戦し、声援を送りました。世界のアスリートの熱戦を肌で感じ、素晴らしい体験となりました。

デフリンピックの応援

編集後記
今年度二回目のPTA新聞(第四十三号)を無事発行することができました。記事や感想をお寄せいただいた皆様、御協力ありがとうございました。

PTA文化部役員一同



1月12日、本校を会場に、親の会が主催する「卒業生のはたちを祝う会」が行われました。立派に成長され、自分の道を進んでいる皆さんの姿に、元気をもらいました。これからも聾学校での経験を糧にご活躍ください。

卒業生のはたちを祝う会

